

**編集後記：**今年の7月は、北日本を中心として日照不足や大雨などが記録的な状況でした。私の住む札幌は普段なら爽やかで一番良い季節のはずですが、北海道在住の最大のメリットを享受できぬまま、いつの間にか季節は冬になってしまいました。

「天気」では会員の皆様の利便性を図るため、1954年の第1巻からの内容をインターネットで公開しています。宣伝になりますが、私の所属する気象学会北海道支部でも、1957年の支部創立当時（初代支部長は中谷宇吉郎教授）からの会報や機関誌を電子ファイル化

し、支部のホームページ「北の天気」で公開しています。専門的な北海道特有の現象の研究・調査報告もあれば、なかば内輪向けの肩肘はらずに書いたエッセイ風のユニークな記事もあり、面白く読んでいただけたと思います。

古いものは手作り感溢れるガリ版刷りですが、その分著者の思いがより直接伝わってくる気がします。皆様、北海道支部のホームページも是非一度覗いてみてください。（川島正行）